



8月31日、町総合公園特設会場において、「天孫降臨の地で紡ぐ昭和100年」をテーマに「サルタフェスタ2025」が開催されました。

オープニングでは、上野小学校が迫力のあるエイサーを披露。清原凜実行委員長が二十歳の私が実行委員長をしてよいのか不安な気持ちがあったが、「若い世代がこれからの高千穂を盛り上げていく」という気持ちで取り組みました。すごく楽しいお祭りになると思うので楽しんでください」とあいさつし、スタートしました。

アトラクション会場では、木工教室やモルック、ユネスコエコパーク、重機体験などの多彩な催しが行われ、たくさんの方が楽しんでいました。なかでも、お化け屋敷は、リタイアする子どもたちがいる程のクオリティーで、子どもたちに大好評でした。

ステージでは、ダンスやバンドなど地元出演者のパフォーマンส์に続き、県内出身の演歌歌手「二見颯二」が登場すると、ステージ前は多くのファンで盛り上がりしました。なお、この度、二見さんは神都高千穂観光大使に任命されました。

その後の「岩切響」と橘太鼓響座、「三味線奏者「浅野祥」の演奏に会場は魅了されました。

ラストは、おなじみの「JABBERLOOP」が登場し、ゲスト出演者全員と吹奏楽部によるコラボが行われ、会場の盛り上がりは最高潮に達しました。

フィナーレには、1500発の色とりどりの花火が、夜空を彩りました。

